

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成26年8月11日 |
| 【四半期会計期間】 | 第34期第1四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日） |
| 【会社名】 | ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社 |
| 【英訳名】 | WILSON LEARNING WORLDWIDE INC. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役会長CEO 森 捷三 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区六本木一丁目10番6号 |
| 【電話番号】 | 03(6381)0234 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員グローバルコーポレート本部 本部長 梶本 知大 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区六本木一丁目10番6号 |
| 【電話番号】 | 03(6381)0234 |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員グローバルコーポレート本部 本部長 梶本 知大 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第33期 第1四半期 連結累計期間 | 第34期 第1四半期 連結累計期間 | 第33期 |
|--|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日 | 自平成26年 4月1日 至平成26年 6月30日 | 自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日 |
| 売上高 (千円) | 699,547 | 700,949 | 3,028,129 |
| 経常利益又は経常損失() (千円) | 7,170 | 19,403 | 205,224 |
| 四半期純損失()又は当期純利益 (千円) | 5,963 | 15,700 | 239,956 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 15,369 | 33,454 | 291,531 |
| 純資産額 (千円) | 1,664,984 | 1,907,672 | 1,941,127 |
| 総資産額 (千円) | 2,591,128 | 2,825,865 | 2,978,179 |
| 1株当たり四半期純損失金額 ()又は1株当たり当期純利益 金額 (円) | 1.16 | 3.05 | 46.59 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 63.7 | 67.2 | 64.7 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第33期第1四半期連結累計期間、第34期第1四半期連結累計期間及び第33期の潜在株式調整後1株当たり当期及び四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績

業績の概要

例年、事業は第1四半期より下期に向け上昇して行く傾向があります。当第1四半期連結累計期間も海外事業は順調にスタート、日本国内事業は予算編成時期に当たり、実施は第2四半期、第3四半期となり、予測通りのスタートとなりました。

日本経済新聞社と業務提携も予定通り進み、4月より日本経済新聞社より社長職に就任されています。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高7億円（対前年同期比0.2%増）、営業損失3千2百万円（対前年同期比80.9%増）、経常損失1千9百万円（対前年同期比170.6%増）となっております。また四半期純損失は1千5百万円（対前年同期比163.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(イ) 国内

金融、製菓、自動車など主要な顧客企業で、人材育成に対する重要性の認識は高まっており、売上は前年同期を上回ることができました。

ただ、個別の顧客企業への対応に伴う開発費用及び退職給付費用の増加により、営業赤字が増加いたしました。

この結果、売上高2億7千万円（対前年同期比0.8%増）、営業損失6千5百万円（対前年同期比46.7%増）となりました。

(ロ) 北米

売上はグローバル顧客向けの案件は減少しましたが、前年同期を上回ることができました。

また、プロジェクト管理による利益率の改善とライセンス収入の増加により営業利益を計上出来ました。

この結果、売上高3億7千7百万円（対前年同期比1.1%増）、営業利益1千8百万円（前第1四半期連結累計期間は3百万円の営業損失）となりました。

(ハ) 欧州

イギリスの売上は横ばいでしたが、フランスにおいて既存顧客の受注が増加し増収増益となりました。

この結果、売上高1億2千3百万円（対前年同期比19.3%増）、営業利益1千8百万円（対前年同期比63.7%増）となりました。

(ニ) 中国

第1四半期において社長が退任したことにより売上に影響が表れ、減収減益となりました。なお、社長の後任は10月より就任いたします。

この結果、売上高4千6百万円（対前年同期比33.8%減）、営業利益6百万円（対前年同期比72.3%減）となりました。

(ホ) アジア・パシフィック

アジア地区はエージェントからの収入が引続き増加し、オーストラリア、インドともに既顧客の案件が増加し、売上は増加し、営業損失は減少しました。

この結果、売上高4千万円（対前年同期比32.5%増）、営業損失3百万円（対前年同期比47.1%減）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の金額は26,516千円となっております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 17,230,720 |
| 計 | 17,230,720 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成26年8月11日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|-----------|
| 普通株式 | 5,154,580 | 5,154,580 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数100株 |
| 計 | 5,154,580 | 5,154,580 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額 (千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|----------------------|-----------------|
| 平成26年4月1日～ 平成26年6月30日 | - | 5,154,580 | - | 722,698 | - | 557,452 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年3月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 400 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 5,150,900 | 51,509 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 3,280 | - | - |
| 発行済株式総数 | 5,154,580 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 51,509 | - |

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、200株(議決権の数2個)含まれております。

【自己株式等】

平成26年3月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|----------------------------|-----------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社 | 東京都港区六本木1丁目10-6 | 400 | - | 400 | 0.00 |
| 計 | - | 400 | - | 400 | 0.00 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,584,187 | 1,531,298 |
| 受取手形及び売掛金 | 615,993 | 536,289 |
| たな卸資産 | 32,962 | 24,677 |
| 繰延税金資産 | 12,123 | 11,725 |
| その他 | 59,480 | 68,133 |
| 貸倒引当金 | 29,863 | 27,739 |
| 流動資産合計 | 2,274,882 | 2,144,383 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 123,118 | 119,871 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 17,830 | 15,328 |
| 土地 | 60,725 | 60,725 |
| リース資産(純額) | 12,419 | 10,845 |
| 有形固定資産合計 | 214,092 | 206,769 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 2,716 | 2,758 |
| リース資産 | 3,873 | 1,674 |
| その他 | 785 | 567 |
| 無形固定資産合計 | 7,374 | 4,999 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 181,435 | 166,335 |
| 敷金及び保証金 | 98,915 | 103,817 |
| 長期貸付金 | 19,824 | 20,541 |
| 退職給付に係る資産 | 86,807 | 81,153 |
| 繰延税金資産 | 91,373 | 94,727 |
| その他 | 40,192 | 39,856 |
| 貸倒引当金 | 36,715 | 36,715 |
| 投資その他の資産合計 | 481,831 | 469,714 |
| 固定資産合計 | 703,297 | 681,482 |
| 資産合計 | 2,978,179 | 2,825,865 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|--------------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 163,542 | 136,370 |
| 短期借入金 | 100,000 | 100,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 49,500 | 49,500 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 75,500 | 69,251 |
| 未払金 | 7,982 | 7,186 |
| 未払消費税等 | 6,364 | 12,087 |
| リース債務 | 11,212 | 8,813 |
| 未払法人税等 | 13,220 | 2,960 |
| 賞与引当金 | 18,408 | 15,381 |
| 繰延税金負債 | 664 | 38 |
| 未払費用 | 130,895 | 145,908 |
| 前受金 | 143,561 | 92,595 |
| その他 | 17,315 | 24,357 |
| 流動負債合計 | 738,163 | 664,446 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 100,500 | 75,750 |
| 長期借入金 | 66,168 | 53,633 |
| リース債務 | 7,597 | 5,839 |
| 繰延税金負債 | 52,391 | 49,220 |
| 退職給付に係る負債 | 5,607 | 7,907 |
| 資産除去債務 | 51,330 | 50,904 |
| その他 | 15,296 | 10,494 |
| 固定負債合計 | 298,889 | 253,747 |
| 負債合計 | 1,037,052 | 918,193 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 722,698 | 722,698 |
| 資本剰余金 | 557,452 | 557,452 |
| 利益剰余金 | 401,222 | 385,521 |
| 自己株式 | 175 | 175 |
| 株主資本合計 | 1,681,197 | 1,665,496 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 15,575 | 15,575 |
| 為替換算調整勘定 | 230,431 | 216,800 |
| その他の包括利益累計額合計 | 246,006 | 232,375 |
| 少数株主持分 | 13,924 | 9,801 |
| 純資産合計 | 1,941,127 | 1,907,672 |
| 負債純資産合計 | 2,978,179 | 2,825,865 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|--------------------|---|---|
| 売上高 | 699,547 | 700,949 |
| 売上原価 | 236,925 | 231,615 |
| 売上総利益 | 462,622 | 469,334 |
| 販売費及び一般管理費 | 480,845 | 502,292 |
| 営業損失() | 18,223 | 32,958 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 379 | 412 |
| 受取使用料 | 3,000 | - |
| 為替差益 | 10,890 | - |
| 持分法による投資利益 | - | 17,880 |
| 賃貸料収入 | 338 | 233 |
| 雑収入 | 862 | 436 |
| 営業外収益合計 | 15,469 | 18,961 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,562 | 2,219 |
| 為替差損 | - | 2,463 |
| 持分法による投資損失 | 894 | - |
| 減価償却費 | 319 | - |
| 賃貸収入原価 | 338 | 233 |
| 雑損失 | 1,303 | 491 |
| 営業外費用合計 | 4,416 | 5,406 |
| 経常損失() | 7,170 | 19,403 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 1,531 | - |
| 受取和解金 | 5,238 | - |
| 特別利益合計 | 6,770 | - |
| 税金等調整前四半期純損失() | 400 | 19,403 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,719 | 4,217 |
| 法人税等調整額 | 858 | 3,797 |
| 法人税等合計 | 4,861 | 420 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 5,261 | 19,823 |
| 少数株主利益又は少数株主損失() | 702 | 4,123 |
| 四半期純損失() | 5,963 | 15,700 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 5,261 | 19,823 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 20,630 | 13,631 |
| その他の包括利益合計 | 20,630 | 13,631 |
| 四半期包括利益 | 15,369 | 33,454 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 14,667 | 29,331 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 702 | 4,123 |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 10,922千円 | 10,696千円 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 国内 | 北米 | 欧州 | 中国 | アジア・パシフィック | 合計 |
|-------------------|---------|---------|---------|--------|------------|---------|
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 219,832 | 305,433 | 85,849 | 58,884 | 29,549 | 699,547 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 48,249 | 68,119 | 17,322 | 10,638 | 1,114 | 145,442 |
| 計 | 268,081 | 373,552 | 103,171 | 69,522 | 30,663 | 844,989 |
| セグメント利益又は損失() | 44,787 | 3,315 | 11,420 | 21,892 | 5,960 | 20,750 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 20,750 |
| セグメント間取引消去 | 2,527 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失 | 18,223 |

当第1四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 国内 | 北米 | 欧州 | 中国 | アジア・パシフィック | 合計 |
|-------------------|---------|---------|---------|--------|------------|---------|
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 223,092 | 311,259 | 98,317 | 38,690 | 29,591 | 700,949 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 47,165 | 66,556 | 24,721 | 7,315 | 11,046 | 156,803 |
| 計 | 270,257 | 377,815 | 123,038 | 46,005 | 40,637 | 857,752 |
| セグメント利益又は損失（ ） | 65,685 | 18,291 | 18,691 | 6,054 | 3,155 | 25,804 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 25,804 |
| セグメント間取引消去 | 7,154 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失 | 32,958 |

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日） |
|------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純損失金額（ ） | 1円16銭 | 3円5銭 |
| （算定上の基礎） | | |
| 四半期純損失金額（ ）（千円） | 5,963 | 15,700 |
| 普通株主に帰属しない金額（千円） | - | - |
| 普通株式に係る四半期純損失金額（ ）（千円） | 5,963 | 15,700 |
| 普通株式の期中平均株式数（株） | 5,138,351 | 5,154,155 |

（注）前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月11日

ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 浅野 俊治 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 山口 直志 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。